

# 実施事業等会計の部

I 講座セミナー・育成

## ①指導者研修事業

### 1 市町村老連会長・事務担当者会議

「戦後世代が大量に高齢期を迎え、人々の意識も多様化する中で、老人クラブは何をすべきか、進むべき道は何か」を協議研究する

開催日 平成25年12月12日から平成25年12月13日

会場 湯沢グランドホテル

参加者 59名

会議内容 [1日目]

(1)講演「超高齢化時代を生きる」

新潟県高齢者大学講師・元新潟大学講師 柴野 精一

(2)質問および意見交換

柴野先生の講演に関する質問、意見交換

(3)県老連事務局説明

県老連事務局長 柴澤 昌夫

[2日目]

(4)県老連事務局説明関連意見交換

県老連事務局長 柴澤 昌夫

(5)専門部会報告

### 2 市町村老連リーダー研修会

県下の各市町村老連リーダーの男女がそれぞれの会場に会し、老人クラブのあり方、組織・体制の強化など進むべき道について研修を行う

開催日 平成25年6月21日(中越地区)、平成25年6月26日(下越地区)  
平成25年6月28日(上越地区)、平成25年7月 2日(佐渡地区)

会場 まちなかキャンパス長岡(中越地区)、村上市生涯学習センター(下越地区)  
直江津学びの交流館(上越地区)、佐渡中央会館(佐渡地区)

参加者 166名(中越地区27名、下越地区47名、佐渡地区57名、上越地区35名)

研修内容 「楽しい老人クラブのあり方とは」をメインテーマに研修を実施

(1)事務局報告「県老連の現状と課題について」 県老連事務局長 柴澤昌夫

(2)事例発表(「老人クラブの活性化対策について」をテーマに)

・三条市老連月岡親交会会長 塚原千鶴子

・村上支部老連副会長 浅野富美子

・佐渡市老連 事例発表なし

- ・糸魚川市老連押上百年会会長 田村弥太郎
- (3)グループ討議(各グループ6名程度で討議)
- (4)全体会

---

### 3 全老連セミナー

全国社会福祉協議会(健康づくり中央セミナーのみ、中央福祉学院「ロフォス湘南」)を会場に、1泊2日(健康づくり中央セミナーは2泊3日)の日程でセミナーを開催

---

#### 第31回都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央セミナー

中心的リーダー、若手リーダーを対象に、単位クラブと連合会における活性化をテーマに開催

---

開催日 平成25年6月3日から平成25年6月4日

参加者 田村光雄(監事・新発田市老連副会長)

---

#### 全老連女性委員会20周年記念

全老連女性委員会が設立して20周年、会員増強における女性リーダー

第25回老人クラブ女性リーダーセミナー ターの役割をテーマに研究、協議するセミナーを開催

---

開催日 平成25年11月25日から平成25年11月26日

参加者 加藤幸子(県老連副会長・女性文化部会委員長)

---

#### 第19回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナー

会員をはじめ地域の一般高齢者とともに、誰もが笑顔で暮らしている地域づくりをめざして研究、協議を行う

---

開催日 平成26年1月16日から平成26年1月17日

参加者 榊 常世(県老連地域ふれあい事業推進部会委員 見附市老連)

---

#### 第11期健康づくり中央セミナー

「健康をすすめる運動」の一層の推進をはかるために、各都道府県等における健康づくりの事業や活動に対する協力者(健康づくり推進員)を養成する

---

開催日 平成25年11月20日から平成25年11月22日

参加者 野口昭雄(県老連健康推進部会副委員長 妙高市老連)

---

## I 講座セミナー・育成

### ②研修事業

---

#### 1 市町村老連女性代表者会議

県老連事業及び市町村老連事業について相互の連絡提携及び女性の立場からの事業の推進と組織の強化を図る

---

〔第1回〕

開催日 平成25年7月1日

会場 アオーレ長岡 市民協働センター

参加者 64名

- 会議内容 (1)「全老連女性委員会総会」報告 県老連女性文化部会委員長 加藤幸子  
(2)事務局説明「県老連の現状と課題について」 県老連事務局長 柴澤昌夫  
(3)講義「地域で活躍する女性リーダーのためのアサーティブコミュニケーション」  
(株)ティックス シニア産業カウンセラー 朝日 由香  
(4)事例発表「女性部発足に向けて」 柿崎区老連女性部 日木 愛子  
(5)グループ討議クロスロードゲーム パートI 『子育て・自分育て・仲間育て』  
～YES・NO カードであなたはどっち？～

〔第2回〕

- 開催日 平成25年11月1日  
会場 アオーレ長岡 市民協働センター  
参加者 43名  
研修内容 (1)報告「県内女性部の活動状況」 県老連女性文化部会委員長 加藤幸子  
(2)講義「もう一歩前へ進もう！」 県老連会長 大野 一伊  
(3)レクリエーション 県老連女性部会委員 小林セツ  
(4)グループ討議「クロスロードゲーム パートII『私のジレンマ』  
～YES、NOカードであなたはどっち？～」

---

## 2 市町村老連事務担当者会議 県老連事業の推進についての説明と打ち合わせのために開催

---

- 開催日 平成25年5月31日  
会場 新潟ユニゾンプラザ  
参加者 22名  
会議内容 (1)平成25年度県老連実施事業について  
・県老連市町村老連の役割について  
・平成25年度の事業方針について  
・役員交代について  
・収入増、会員サービス向上を図るシステム(素案)について  
・電子データの活用について  
・県老連ホームページの改修について  
(2)意見交換  
(3)その他

---

## 3 第42回全国老人クラブ大会

老人福祉法50周年・老人保健法30周年記念として東日本大震災被災地  
岩手県にて全国の老人クラブからの支援に感謝しての開催

---

- 開催日 平成25年10月1日から平成25年10月2日  
会場 岩手県民会館

参加者 9名

〔大会初日〕活動交流部会

- 1部会 健康づくり・介護予防活動の推進
- 2部会 わがクラブの活性化、加入促進プラン
- 3部会 女性会員による元気なクラブ作り
- 4部会 住みよいまちづくりへの取り組み
- 5部会 東日本大震災と老人クラブ ～全国からの支援に感謝します

〔2日目〕式典

活動交流部会報告・アトラクション

表彰	(1)全国老人クラブ連合会会長表彰者・団体
	・育成功労者表彰
	小野塚正雄(元県老連評議員)
	皆川良作(県老連評議員)
	加藤幸子(県老連副会長)
	・優良老人クラブ表彰
	宮老人クラブ(南魚沼市老連)
	・優良郡市区町村老連表彰
	佐渡市両津地区老人クラブ連合会
	上越市柿崎区老人クラブ連合会

---

#### 4 関ブロ老人クラブリーダー研修会

活動の実績と成果を確認するとともに、高齢社会における活力ある地域づくりに向け、老人クラブリーダーの資質と教養の向上を図る

---

開催日 平成25年7月4日から平成25年7月5日

会場 鴨川グランドホテル(千葉県鴨川市)

参加者 7名

研修内容 〔1日目〕

- (1)基調報告 ①活性化計画の総括と今後に向けて
- ②老人クラブ傷害保険について 全老連参事 河野敦子

(2)パネルディスカッション

「“超高齢化社会”私たちが支えます」

コーディネーター 北野 大 淑徳大学教授

パネラー

大野一伊 新潟県老連会長

須永君代 千葉市老連女性委員会 副委員長

戸塚順一 シニアクラブ静岡県理事 若手委員会

〔2日目〕

- (3)表彰式 関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会会長表彰者
- ・池山久雄(県老連理事・見附市老連前会長)
- ・小野金吾(県老連評議員・胎内市老連会長)
- ・川上イツ(県老連理事・南魚沼市老連副会長)

- ・小池洋一(県老連理事・糸魚川地区老連会長)
- ・高橋孝一(県老連理事・聖籠町老連会長)
- ・原沢久晴(県老連評議員・湯沢町老連会長)

(4)いきいきクラブ体操

(5)トーク&ライブ

「とっても素敵な地球」

加藤 登紀子

## 5 関プロ女性リーダー研修会

平成25年度は各女性リーダーより事前に提出された協議題を基に、自由に討議・情報交換を行った

開催日 平成25年8月30日

会場 東京都高齢者研究・福祉振興財団「ウェルネスエイジ60」

参加者 秋山 邦子(県老連女性文化部会副委員長・上越市老連副会長)代理出席

### I 講座セミナー・育成

## ③指導調整事業

### 1 専門部会の開催

本会事業を円滑に推進するために、研修・女性文化・健康推進・地域ふれあい事業推進の4専門部会を設置。部会会場はいずれも新潟ユニゾンプラザ

### 専門部会委員長会議・専門部会

部会名	回次および開催日	部会内容
研修	第1回 平成25年 6月 4日	(1)平成25年度の市町村老連リーダー研修会について (2)その他
	第2回 平成25年11月 5日	(1)平成25年度の市町村老連リーダー研修会について(評価・反省) (2)平成26年度の研修会内容について
女性文化	第1回 平成25年 6月 3日	(1)自己紹介 (2)全老連女性委員会総会報告 (3)平成25年度の計画について (4)全老連・関東甲信越静ブロック開催の研修会について (5)その他
	第2回 平成25年11月12日	(1)平成25年度実施事業の評価及び反省について (2)平成26年度事業計画について

部会名	回次および開催日	部会内容
健康 推進	第1回 平成25年 6月10日	(1)平成25年度の「健康づくり推進員養成講座」について (2)平成25年度「健康づくり推進員養成講座事業」にかかる運営協議 (3)その他
	第2回 平成25年11月 6日	(1)平成25年度の「健康づくり推進員養成講座」についての評価及び 反省 (2)平成26年度の「健康推進部会」の取り組みについて (3)その他
地域 ふれ あい	第1回 平成25年 6月 7日	(1)平成25年度「友愛活動研修会」に係る運営協議 (2)全老連「第19回・在宅福祉を支える友愛活動セミナー」参加者の選 定協議 (3)その他
	第2回 平成25年11月11日	(1)平成25年度の友愛活動研修会について(評価及び反省) (2)平成26年度の地域ふれあい事業推進部会の取り組みについて (3)その他

#### 専門部会合同会議

開催日	参加部会	部会内容
平成26年 2月 6日 平成26年 2月 18日	研修部会、女性文化部 会、健康推進部会、地 域ふれあい事業推進部 会	(1)平成26年度の各研修部会企画案について (2)その他

## 2 全老連関係会議

評議員会・事務局長会議・会長会議・女性委員会総会から構成

### 第1回評議員会

平成24年度事業報告ならびに決算等について審議

### 第2回評議員会

公益財団移行に伴う平成25年度事業計画・予算案及び諸規程等について審議

開 催 日 平成25年6月20日 第1回は代理出席不可のため欠席  
平成26年3月7日

参 加 者 大野一伊(県老連会長)

---

第1回事務局長会議	会員加入増、老人クラブ活性化の取り組みを中心としながら、今後に向けて検討・協議
第2回事務局長会議	平成26年度に向けた全老連事業計画・予算をはじめ、重要な課題等について検討・協議

---

開 催 日 [第1回]平成25年6月24日から平成25年6月25日  
[第2回]平成26年2月4日  
参 加 者 柴澤昌夫(県老連事務局長)

---

会長会議 平成22年度から取り組んできた「老人クラブ活性化3か年計画」の取り組み状況を受け新たな活性化策を講ずるため政策委員会において検討・協議した結果をふまえ、組織活動の基盤となる会員増強に向けた運動の推進と老人クラブの組織強化策について協議することを目的として開催

---

開 催 日 平成25年12月3日から平成25年12月4日  
参 加 者 大野一伊(県老連会長)  
柴澤昌夫(県老連事務局長)

---

第41回女性委員会総会	平成25年度事業計画に重点、平成24年度事業報告について
第42回女性委員会総会	公益財団法人移行に伴う「女性委員会」の再編について

---

開 催 日 [第41回]平成25年5月23日  
[第42回]平成25年11月26日  
参 加 者 加藤幸子(県老連女性文化部会委員長・県老連副会長)

---

3 関プロ関係会議 事務局長会議・会長事務局長会議・連絡協議会から構成

---

---

---

関プロ事務局長会議 関プロ各老連事務局長が一堂に会して相互の連絡調整・情報交換ならびに研究協議を行い、老人クラブ連合会の運営に資するとともに高齢者福祉の増進に寄与することを目的とする

---

[第1回]  
開 催 日 平成25年4月19日  
会 場 東京都健康プラザハイジア(東京都新宿区)  
参 加 者 柴澤昌夫(県老連事務局長)

[第2回]  
開 催 日 平成25年8月21日から平成25年8月22日

会 場 松乃井(群馬県みなかみ町)  
参 加 者 柴澤昌夫(県老連事務局長)  
〔第3回〕  
開 催 日 平成25年10月8日  
会 場 東京都サンプラザ研修室(東京都中野区)  
参 加 者 柴澤昌夫(県老連事務局長)

---

関プロ会長・事務局長会議

前年度の事業報告・収支決算、現年度の事業計画(案)・収支予算(案)、関プロリーダー研修会、関プロ会長表彰を審議するために開催

---

開 催 日 平成25年5月17日  
会 場 全国社会福祉協議会(東京都千代田区)  
参 加 者 大野一伊(県老連会長)  
柴澤昌夫(県老連事務局長)

---

関プロ連絡協議会

老人クラブづくりの必要性等取り巻く多様な課題について、関プロ各老連会長等が一堂に会して、情報交換ならびに研究協議を行い、これからの老人クラブの活性化に資する

---

開 催 日 平成25年10月21日から平成25年10月22日  
会 場 伊豆 修善寺温泉 掛川  
参 加 者 大野一伊(県老連会長)  
柴澤昌夫(県老連事務局)  
内 容 〔1日目〕研究協議  
〔2日目〕視察研修(達摩山からの富士眺望、葦山反射炉、三島大社)

I 講座セミナー・育成

**④地域ふれあい・社会活動推進事業**

---

1 友愛活動研修会

ふれあい、助け合いの精神を培い、活力と人間性に富んだ地域社会づくりに寄与することを目的とする。

---

---

開 催 日 平成25年9月25日(三条会場)、平成25年10月11日(上越会場)  
会 場 「ソレイユ三条」(三条会場)、「直江津学びの交流館」(上越会場)  
参 加 者 59名(三条会場33名、上越会場26名)

- 研修内容 (1)例会発表「熟年いきいの会」によるコーラス  
(2)事例発表(サロン活動、災害支援活動)  
・県老連地域ふれあい部会委員長 上石貞夫  
・上越市老連副会長 風間静雄  
(3)分科会(交流会)  
(4)意見交換

---

## 2 地震災害等支援活動

東日本大震災および長野県北部地震の被災者に対する支援を実施

---

---

### 県老連による活動

---

#### 福島県老連会長会議

---

- 開催日 平成26年2月12日から平成26年2月13日  
会場 磐梯熱海温泉 ホテル華の湯(福島県郡山市)  
内容 ① 大野一伊会長基調講演  
「あなたの知恵と経験を何処に活かしますか!! それは老人クラブでしょう!!」  
② 会長対談「支援活動を通して繋がる福島・新潟」  
福島県老連 渡部盛美会長  
新潟県老連 大野一伊会長  
③ 県内女性部手作りの布製カード入れのプレゼント

---

### 市町村老連による活動

---

#### 田上町老連(羽生田老人会)

---

- 開催日 平成25年5月13日から平成25年5月14日  
会場 福島県会津若松市河東総合体育館  
参加者 54名(羽生田老人会30名、大熊町老連24名)  
活動内容 ペタンク競技を楽しみ、交流をはかり友情の絆を深めた。

---

#### 村上地域老連(村上支部老連)

---

- 開催日 平成25年6月20日から平成25年6月21日  
会場 村上市生涯学習センター  
参加者 63名(村上支部22名、葛尾41名)

活動内容 1年ぶり2回目の交流で、村上支部の女性部が中心となって、ちまき作り等で1泊の懇親交流会を実施。

---

#### 糸魚川市老連連絡協議会

---

開催日 平成25年7月2日から平成25年7月3日  
会場 福島県富岡町ボランティアセンター  
参加者 62名(糸魚川市32名、富岡町老連30名)  
活動内容 絵手紙教室の会員らで応援メッセージを込めた絵手紙を230通プレゼントし、地元コシヒカリの贈呈も行った。交流会では、一緒にフォークダンスを踊ったり、宝引きで楽しい時間を共有した。

---

#### 村上地域老連(朝日地区協議会)

---

開催日 平成25年9月12日  
会場 村上市総合文化会館  
参加者 32名(朝日地295名、避難者4名)  
活動内容 例年開催の地区大会の中で『朝比奈ゆう歌謡ショー』に福島県から避難している方を招待した。朝比奈ゆうさんの歌声に元気づけられたと喜ばれた。

---

#### 上越市老連

---

開催日 平成25年11月6日から平成25年11月7日  
会場 福島県南相馬市鹿島区仮設住宅  
参加者 56名(上越市老連24名、自主サロン32名)  
活動内容 編み物同好会のメンバーが手作りの「幸せ袋」を作成し、当日、米や味噌を入れて贈呈した。交流会では、紙芝居「赤いろうそくと人魚」、相撲甚句、マジックショー等、会員により披露、宝引きで親睦を深めた。

---

### 3 老人クラブー斉奉仕の日

日常的に行われている奉仕活動について、年1回、統一して実施し、県民からの敬老、敬愛に応えるとともに、老人クラブの社会的活動の発展につなげる

---

#### 概況

---

##### (1)参加クラブ数および参加会員数

参加クラブ数	1,065 クラブ	県内1,979クラブのうち、53.8%が参加
参加会員数	33,202 名	県内会員109,531名のうち、30.3%が参加

(2)活動別参加クラブ数および会員数(複数回答)

実施内容		クラブ数	会員数
ア 地域社会への奉仕活動	(ア)清掃美化	673	16,347
	(イ)廃品回収	101	1,496
	(ウ)花壇づくり・緑化活動	198	32,366
	(エ)地域行事への参加・協力	194	4,552
	(オ)その他の奉仕活動	124	1,738
イ 友愛活動	(ア)在宅老人への訪問	172	1,352
	(イ)施設への訪問・慰問	56	493
	(ウ)その他の友愛活動	55	748
ウ 生産活動	(ア)農作物の生産・収穫	28	449
	(イ)手工芸・遊具の製作	22	120
	(ウ)その他の生産活動	17	240
エ 伝承活動		42	726
オ その他の活動(交通安全・募金など)		729	8,013

---

重点地区

---

- (1)実施老連 田上町老人クラブ連合会(会長 田巻 敏)  
(2)実施日 平成25年10月9日  
(3)場所 羽生田ふれあい公園・原ヶ崎運動公園(田上町)  
(4)内容 草刈り・草取り  
(5)参加人数 18単位クラブ、38名

---

4 地域での支え合いの輪の推進

県地域自殺対策緊急強化事業補助金により、地域での新たな支え合い仕組みづくりの構築を図る

---

高齢者の自殺対策【いろはカルタ式絵はがき】作成

県自殺予防キャッチフレーズ『たった一人のあなたです。たった一つの命です。』をいろはカルタ式の絵はがきにし、16,000組(5枚1セット)を作成  
市町村老連、関係団体、新潟県福祉保健部へ配布

## ⑤健康づくり・予防活動事業

### 1 健康づくり委員会

「市町村老連が行う健康づくり事業」の円滑な推進と事業の活用促進に資するため、「健康づくり委員会」を設置し、人材育成の研修および健康づくりについての啓発普及を行う

開催日 平成25年6月10日

会場 新潟ユニゾンプラザ

委員構成 [行政] 須貝孝新潟県福祉保健部国保・福祉指導課長、堀井淳一新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長、永瀬吉彦新潟県福祉保健部健康対策課長

[団体] 興栢建郎新潟県医師会理事、佐藤徹新潟県歯科医師会常務理事、竹石秀明新潟県薬剤師会常務理事、皆川陽子新潟県看護協会理事、伊藤知子新潟県栄養士会専務理事、渡辺耕司新潟県レクリエーション協会専務理事

[学界] 丸田秋男新潟医療福祉大学副学長、小林量作同大学大学院教授

[県老連] 櫻井弘志健康推進部会委員長、野口昭雄・青柳ミヅホ・川上イツ・佐々木伸彦・佐藤一義の各健康推進部会委員、柴澤昌夫事務局長

協議内容 (1)新潟県老人クラブ連合会「健康づくり推進員養成講座」について  
(平成22年度-平成24年度)  
(2)平成25年度の健康づくり推進員養成講座の実施計画  
(3)その他

### 2 健康づくり推進員養成講座

高齢者の健康づくりに寄与する人材育成を図る

参加資格 市町村老連から推薦された70歳までの男女の会員(役員に関係なく)  
※健康づくりに関心があり、地元で活躍できる人

参加者 13名

開催状況

回次	開催日・会場・講師等
第1回	(1)開催日 平成25年9月18日 (2)会場 メイワサンピア

第1回	(3)講師等 (4)その他	・新潟医療福祉大学副学長 丸田秋男 ・新潟県レクリエーション協会専務理事 渡辺耕司 ・新潟県レクリエーション協会の「レクリエーション式体力チェック普及指導者認定証」を交付
第2回	(1)開催日 (2)会場 (3)講師等 (4)その他	平成25年9月19日 メイワサンピア ・日本赤十字社新潟県支部救急法指導員 川島裕子 ・新潟県福祉保健部健康対策課参事 伊藤和彦 グループ協議
第3回	(1)開催日 (2)会場 (3)講師等	平成25年10月28日 新潟ユニゾンプラザ ・新潟県歯科保健協会歯科衛生士 長部麻未 ・新潟県薬剤師会薬事衛生指導員 足立泰儀 ・新潟県医師会理事 高木 顯
第4回	(1)開催日 (2)会場 (3)講師等	平成25年11月12日 新潟ユニゾンプラザ ・新潟県栄養士会 川村美和子 ・新潟医療福祉大学大学院教授 小林量作
第5回	(1)開催日 (2)会場 (3)その他 (4)修了式	平成25年11月25日 新潟ユニゾンプラザ グループ協議 (講評)新潟医療福祉大学副学長 丸田秋男 ※大野県老連会長より修了者に認定書授与

## II 調査資料収集

### 1 老人クラブ数・会員数調

県老連全体のクラブ数・会員数を把握するとともに、全老連にも報告

前年比208クラブ、13,330名減となり、平成7年から19年連続して減少となった。  
 なお、ピーク時の老人クラブ数・会員数・加入率は、3,950クラブ(平成2年)・272,614名(平成6年)・67.0%(昭和52年)であった。

		平成24年4月1日	平成25年4月1日	増減
新潟県老連	クラブ数	2,187 クラブ*	1,979 クラブ*	-208 クラブ*
	会員数	122,861 名	109,792 名	-13,069 名
(参考) 新潟市老連	クラブ数	500 クラブ*	481 クラブ*	-19 クラブ*
	会員数	34,593 名	32,787 名	-1,806 名
新潟県全体	クラブ数	2,687 クラブ*	2,460 クラブ*	-227 クラブ*
	会員数	157,454 名	142,579 名	-14,875 名
	加入率	18.9 %	16.9 %	-2.0 %

## 2 会員加入促進運動—プラス5人作戦—

平成13年度に実施要領を作成、「プラス5人作戦」と名付け、全県で加入促進の取り組みを行っている

顕彰対象	(1)「5人増達成」	平成25年4月1日現在の会員数が、前年同日より5人以上増加した単位老人クラブ。
	(2)「新規・復活」	平成24年4月1日から平成25年3月31日の間に、新規発足または復活した単位老人クラブ。
達成クラブ数	(1)「5人増達成」	220クラブ(前年181クラブ)
	(2)「新規・復活」	8クラブ(前年15クラブ)
	(3)「新規3人増」	平成25年度より廃止
助成金	(1)「5人増達成」	総額440,000円、1クラブあたり2,000円を助成
	(2)「新規・復活」	総額101,700円、1クラブあたり12,500円を助成

## 3 活動資料の収集

市町村老連の活動状況を収集することで、県全体の老人クラブの事業動向を把握する

提出された市町村(地区・区・支部)老連の「事業計画・予算書」等から調査し、必要に応じて資料提供を行った。

## 4 啓発・広報事業

県老連では、昭和41年5月1日に「県老連だより」第1号を1,500部発行して以来、今日までに通算第113号を発行、老人クラブ活動の啓発・広報に努めている

会報の発行 (1)発行回数 2回(平成25年11月、平成25年1月)  
 (2)発行部数 第112号(創立50周年記念号)4, 500部・第113号4, 000部

編集委員会 平成25年度は「県老連だより」編集委員会を下表のとおり開催した。

平成25年	6月11日、8月5日、8月22日、9月12日、 10月10日、11月14日
平成26年	1月8日

老人クラブ活動活性化モデル推進事業(県補助事業)

上越市老連 高田まちなか回遊・交流楽座活動への補助  
 県老連 ホームページの開設および加入促進パンフレットの作成  
 「老人クラブに関する意識調査」の実施

### Ⅲ 助成(応募型)

老人クラブ活動促進対策事業

市町村老連が行う事業に対して助成することで、事業の円滑な運営と促進を図り、以って市町村老連の発展に寄与することを目的とする

対象事業 老人福祉大会開催事業、老人クラブリーダー研修会開催事業、女性リーダー研修会開催事業、活動別リーダー研修会開催事業、老人スポーツ大会開催事業、老人作品展開催事業、老人囲碁将棋大会開催事業、老人の主張大会開催事業、緑と花の広場づくり地区指定事業

助成額

老連名	助成額	老連名	助成額
新発田市老連	52,000円	三条市老連	53,000円
村上地域老連	97,000円	柏崎市老連	61,000円
燕市老連	55,000円	小千谷市老連	53,000円
五泉市老連	20,000円	加茂市老連	17,000円
佐渡市老連	61,000円	十日町市老連	79,000円
阿賀町老連	17,000円	見附市老連	32,000円
長岡市老連	213,000円	南魚沼市老連	84,000円

老連名	助成額	老連名	助成額
田上町老連	11,000円	糸魚川地区老連	26,000円
出雲崎町老連	6,000円	能生地区老連	12,000円
湯沢町老連	6,000円	青海地区老連	9,000円
刈羽村老連	10,000円	妙高市老連	28,000円
上越市老連	235,000円		

## IV 表彰コンクール

### 1 創立50周年記念老人福祉大会

老人クラブの発展向上と老人福祉の推進に寄与することを目的とし、昭和38年に創立され、今年50周年を迎えた。今大会を契機に更なる歴史の第一歩を踏み出すべく県老連と新潟市老連が合同で開催

開催日 平成25年10月17日

会場 新潟テルサ

参加者 1,500名

大会内容 オープニングアトラクション

銭太鼓 長岡市中之島支部老連  
新潟市秋葉区老連

#### (1)表彰 県知事表彰

・田上町老人クラブ連合会

県老連会長表彰

・老人クラブ功労者 41名

・優良老人クラブ 9クラブ

・永年勤続職員 4名

全老連活動賞

・健康づくり活動部門 3クラブ

・仲間づくり活動部門 1クラブ

#### (2)慶 祝 金婚夫婦代表に色紙と花束贈呈

(3)来賓祝辞 泉田裕彦新潟県知事、篠田昭新潟市長、関昭一新潟市社会福祉協議会会長、羽田有希青年代表(学校法人新潟総合学園新潟医療福祉大学)

#### (4)大会宣言

(5)芸能発表 県老連 聖籠町老連 五泉市老連  
市老連 8団体

(6)講演 演題 「元気が出る老い方」  
講師 樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会理事長、東京家政  
大学名誉教授)

---

2 金婚色紙 金婚を迎えられた老人クラブ会員の夫婦に、知事揮ごうによる色紙を複製し、贈呈する

---

贈呈組数 1,904組

## V 競技会

---

### 第42回新潟県老人囲碁・将棋大会

老人クラブの自主的活動の育成助長と会員相互の連帯感を高め、心身の健康に寄与することにより老人福祉の向上を図ることを目的とする

---

開催日 平成25年11月13日  
会場 高齢者センターしなの  
参加者 34名(囲碁大会18名、将棋大会16名)  
大会結果

大会名	優勝	準優勝	第3位
囲碁大会	小林幸英 (見附市)	酒井悦男 (長岡市)	竹原達雄 (上越市)
将棋大会	西村雄吾 (吉田地区)	小林 進 (上越市)	目黒光男 (見附市)

上位入賞者は、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ねんりんピック栃木2014)への派遣を予定

## VI 共通

---

### 1 啓発広報事業(会員徽章の斡旋)

全老連会員徽章(バッジ)は、会員一人一人の意欲とクラブの誇りを示すシンボルであり、県老連としても、引き続き普及活動を実施する

---

斡旋実績 10個

## 2 老人クラブ関連の予算対策等

老人クラブ関係予算は、厚生労働省老健局ならびに新潟県福祉保健部が所管している

### 国家予算関係事項

「高齢者地域福祉推進事業」として位置づけられている老人クラブ関係予算は、従来の27億6000万円から5000万円減の27億1000万円となった。

老人クラブ数の減少に伴うものであり、予算の執行全体に影響を及ぼすものではないと考えられる。

#### 平成25年度 老人クラブ関係予算の概要

	(単位:千円)	
	平成25年度	平成26年度
高齢者地域福祉推進事業	2,760,000	→ 2,710,000
(1) 老人クラブに対する助成		
(2) 市町村老人クラブ連合会に対する助成		
① 活動促進事業		
② 健康づくり・介護予防支援事業		
③ 地域支え合い事業		
④ 若手高齢者組織化・活動支援事業		
⑤ 市町村老連活動支援体制強化事業		
(3) 都道府県・指定都市老人クラブ連合会に対する助成		
① 老人クラブ等活動推進事業		
② 健康づくり・介護予防支援事業		
③ 地域支え合い事業		
④ 若手高齢者組織化・活動支援事業		
(4) その他、高齢者の生きがいと健康づくりに資するとともに社会参加の促進を目的とする等、都道府県・指定都市老連が行う事業として適当と認められる事業		

### 県予算関係要望事項

ア 平成25年9月26日付で、自由民主党新潟県支部連合会の帆苅謙治幹事長および早川吉秀政務調査会長あてに「平成26年度新潟県高齢者福祉対策等関連予算要望書」を提出した。

イ 平成25年11月18日に、平成26年度新潟県社会福祉政策・予算について、11福祉団体が泉田裕彦新潟県知事に要望をした。その後、本間俊一新潟県福祉保健部長に説明した。

## 平成26年度新潟県社会福祉政策・予算要望書(抜粋)

### 《重点要望》

社会福祉を取り巻く情勢は、近年の少子高齢化を伴う人口減少や世帯構造の変化等を背景に、地域のつながりの希薄化による社会的孤立や、最近はようやく景気に明るさが見え始めましたが、数年来のデフレ不況下における景気低迷や雇用の悪化を要因とする経済的困窮などにより、様々な福祉課題、生活課題が顕在化しています。

一方で、国においては子育て支援や医療・介護サービス保障の強化、生活困窮者の生活支援に係る法整備を進めています。

このような昨今の社会情勢や社会福祉をめぐる動向をふまえ、安全・安心で、県民一人ひとりが大切にされ、希望を抱き未来を描くことのできる地域社会の現実に向けて、社会福祉政策や予算編成、及び国への働きかけについて、次のとおり福祉団体が共同で要望します。

#### I 老人クラブ会員増強運動への支援

昭和38年に制定された老人福祉法に基づき、老人クラブが全国的に組織されました。「一人暮らしの高齢者」「老夫婦世帯」が増加する一方で、「地域の絆の希薄化」が年々進むとともに老人クラブ会員数も減少している状況となっています。老人クラブ会員数の減少は、全国的に広がっており、この危機的状況を打破するため、全国老人クラブ連合会では、来年度から新たな加入促進計画を実施します。

当会においても老人クラブ会員の増強を図るため、老人クラブ活動の強化、老人クラブの知名度向上に寄与する事業を今後計画する予定です。実施可能な計画とするためには、行政との連携が必要であることから、県内各市町村への指導等の支援を要望します。

#### II 現行補助金額の堅持

現在、実施中の健康づくり、地域の見守り活動等で事業効果を上げている「老人クラブ事業補助金」「市町村老人クラブ連合会事業補助金」「健康づくり支援事業補助金」及び県老連に対する「老人クラブ等活動推進員設置事業補助金」を堅持願います。

平成25年11月18日

一般財団法人 新潟県老人クラブ連合会  
会長 大野 一 伊

新潟県知事 泉田裕彦 様

# 法人会計の部

## I 正副会長会議

事業実施の詳細について、県老連事務局と調整を図る(会場・新潟ユニゾンプラザ)

回次	開催日	議 題
第1回	平成25年 4月11日	(1)平成25年度の事業実施について (2)その他
第2回	平成25年 5月13日	(1)理事会、評議員会について (2)専門部会等について (3)その他
第3回	平成25年 7月11日	(1)県老連・市老連創立50周年記念老人福祉大会について (2)その他
第4回	平成25年 9月 6日	(1)創立50周年記念老人福祉大会について (2)全国老人クラブ大会について (3)全老連の新規加入促進計画について (4)市町村老連・事務担当者会議について (5)その他
第5回	平成25年11月21日	(1)来年度の県補助金について (2)市町村老連・事務担当者会議について (3)各部会報告・計画について (4)県社協福祉フェアの参加について (5)50周年記念老人福祉大会の決算について (6)平成26年度共同募金助成事業について (7)その他
第6回	平成26年 1月28日	(1)平成25年度補正予算について (2)平成26年度事業計画(概要)について (3)その他
第7回	平成26年 2月18日	(1)平成26年度事業計画(概要)について (2)その他
第8回	平成26年 3月 5日	(1)平成26年度予算について (2)その他
第9回	平成26年 3月18日	(1)平成26年度予算について (2)その他

## II 理事会

本会定款の第26条から第30条に基づき招集・議案を決議(会場・新潟会館)

回次	開催日	議案
第1回	平成25年 5月 27日	第1号議案 平成24年度事業の実施状況について 第2号議案 平成24年度収支決算について 第3号議案 賛助金の額の改定について
第2回	平成26年 3月 28日	第1号議案 平成25年度収支補正予算(案)について 第2号議案 平成26年度事業計画(案)について 第3号議案 平成26年度収支予算(案)について 第4号議案 規程等の改正について

## III 評議員会

本会定款の第13条から第18条に基づき招集・議案を決議(会場・新潟会館)

回次	開催日	議案
第1回	平成25年 5月 27日	第1号議案 平成24年度事業の実施状況について 第2号議案 平成24年度収支決算について 第3号議案 賛助金の額の改定について
第2回	平成26年 3月 28日	第1号議案 平成25年度収支補正予算(案)について 第2号議案 平成26年度事業計画(案)について 第3号議案 平成26年度収支予算(案)について 第4号議案 規程等の改正について 第5号議案 役員解任について

## IV 監事会

本会定款の第22条に基づき、監事は監査の権限を有する(会場・新潟ユニゾンプラザ)

開催日	監査事項
平成25年 5月 9日	(1)平成24年度事業実施状況(案)について (2)平成24年度決算書(案)について (3)平成24年度新潟県老人クラブ交友会の事業実施状況および決算書(案)について (4)その他

# 共益事業等会計の部

## I 旅行事業“会員研修旅行（ゆとり）”

老人クラブの会員を対象に、新潟交通・越後交通・頸城自動車の交通3社は旅行プランを提供している

### 1 年度別・地区別参加状況

年度	地区			計
	上越	中越	下越	
平成16	1,981名	2,831名	11,259名	16,071名
平成17	1,220名	2,410名	9,912名	13,542名
平成18	1,360名	2,820名	10,512名	14,692名
平成19	1,169名	1,868名	9,272名	12,309名
平成20	921名	2,158名	5,223名	8,302名
平成21	934名	1,494名	3,325名	5,753名
平成22	726名	1,619名	3,491名	5,836名
平成23	584名	1,933名	2,373名	4,890名
平成24	556名	1,622名	2,161名	4,339名
平成25	471名	1,330名	1,892名	3,693名

### 2 平成25年度県内統一コースの参加状況

	地区			計
	上越	中越	下越	
県内統一コース (伊勢神宮コース)	59名	5名	171名	235名
地区別コース	412名	1,325名	1,721名	3,458名
合計	471名	1,330名	1,892名	3,693名

### 3 平成25年度地区別コースの参加状況

	地区			計
	上越	中越	下越	
日帰り	198名	373名	568名	1,139名
1泊2日	214名	952名	1,153名	2,319名
合計	412名	1,325名	1,721名	3,458名

---

## Ⅱ 広告事業

県老連の指定旅館事業と全老連の老人クラブ傷害保険事業から構成

---

### 県老連指定旅館

---

契約料金 1泊2日2食付 8,000円(サービス料込み・税別)

指定期間 平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間

指定件数	県内			県外	計
	上越地区	中越地区	下越地区		
	5	21	15	18	59

広報 旅館パンフレット「県老連 指定旅館のご案内 2013」を4,000部作成、全クラブに配布し、周知を図った。

---

### 老人クラブ傷害保険の普及

---

概要 老人クラブ活動中の事故(ケガ)に備えた補償と事故防止を主旨として、昭和62年に全国的に発足した。県老連では、クラブ活動を活発に行う上での保険として、より多くの会員が加入するように引き続き普及を働きかけたい。

歴史 昭和62年9月 老人クラブ傷害保険開始  
平成10年9月 活動中だけではなく日常生活での事故も対象とする「24時間保険」の追加  
平成11年1月 活動中の飲食による細菌性食物中毒補償開始  
平成16年7月 ケガによる全治1日の入院・通院の補償を追加

---

## Ⅲ 物資斡旋事業

老人クラブ活動に使用されるスポーツ用具・事務等冊子を斡旋

---

- (1) 全社協印刷の老人クラブ手帳、活動日誌・会計簿等の斡旋
- (2) 輪投げ用具の斡旋
- (3) 「みんなで歌う愛唱歌集」の斡旋